

Queensland University of Technology (QUT)における機関リポジトリ業務の実際

九州大学附属図書館コンテンツ整備課電子化係 星子 奈美

平成 19 年度国立大学図書館協会シンポジウム (東日本会場)

平成 19 年 9 月 19 日(水)

発表要旨

発表者は、2006 年 8 月 31 日から 2007 年 2 月 28 日までの 6 ヶ月間、九州大学が国立情報学研究所より委託された平成 18 年度次世代学術コンテンツ基盤共同整備事業の一環として、オーストラリアの Queensland University of Technology (QUT) に派遣され、図書館の機関リポジトリ担当スタッフの一員として実務に携わる貴重な機会を得た。QUT は、研究成果物の機関リポジトリへの登録が、大学のポリシーとして明示されていることでも知られている。今回の発表では、実務をとおして学んだ、運用体制、著作権処理、広報活動など機関リポジトリ業務の様々な側面について報告するとともに、現在過渡期にある QUT の機関リポジトリの今後について展望する。

発表内容

1. QUT について

所在地: Brisbane (Queensland 州の州都)

設立: 1989 年

学生数: 約 40,000 人

キャンパス: Gardens Point, Kelvin Grave, Carseldine, Caboolture

2. QUT のリポジトリ関連業務

体制: Paula Callan 氏(eResearch Access Coordinator)と ePrints Team のスタッフ 3 名(当時)

2.1 QUT ePrints

運用開始: 2003 年

登録アイテム数: 約 6,000 件(2007 年 8 月現在)

セルフ・アーカイビングが主流

2.2 ADT (Australasian Digital Thesis)

・Australian Research Council の 1997/1998 年の資金援助を受けて開始

・オーストラリア・ニュージーランドの約 40 大学が参加

・電子化に際して必要な著作権処理 - 論文中の図表

3. ユーザーに対するリポジトリ施策

3.1 広報活動

リポジトリ導入時にターゲットとすべき人々(Paula Callan)

1. "Low-hanging fruits"

2. "Early adopters"

3. "Late-career academics"

4. "High-status researchers"

3.2 大学のポリシー

QUT Manual of Policies and Procedures (MOPP) F/1.3 E-print repository for research output at QUT: 1.3.2 Policy

Material which represents the total publicly available research and scholarly output of the University is to be located in the University's digital or " E print " repository, subject to the exclusions noted. In this way it contributes to a growing international corpus of refereed and other research literature available on line, a process occurring in universities worldwide.

4. 今後の QUT ePrints

4.1 システム移行

ARROW (Australian Research Repositories Online to the World)

Fedora ベースに構築された Visionary Technology in Library Solutions (VTLS)社のリポジトリソフトウェア「VITAL」を「ARROW ソフトウェア」として公式に推奨
→QUT もこれを受けてシステム移行を決断

4.2 RQF への対応

RQF (Research Quality Framework)

- ・大学や公的研究機関の研究の質を測る指針。2008 年開始予定。
- ・評価に基づいて各大学に研究資金が分配される予定
- ・評価に際し、すべての研究業績をリポジトリに登録することが各大学に求められる可能性

cf. Arthur Sale, "Australian Opposition metrics" (June 19, 2007, American Scientist Open Access Forum)

The Australian Opposition has announced that should they win office in a federal election to be held later this year, they will scrap the Government's planned RQF process (based on peer panels and the UK's RAE), and replace it by a metric-based quality assessment.

4.3 OAK Law Project

- ・QUT の School of Law によるプロジェクト
- ・オープンアクセスを法的にサポート
- ・活動内容 (OAK Law Project Report No.1, p.iii より):
 - 大学や研究機関で適用されうる、オープンアクセスポリシーのガイドラインを作る。
 - 出版社のポリシー一覧である OAK List を作成し、SHERPA List とも連携する。
 - 研究者の、出版社アグリーメントに対する態度や、これまでの経験を調査する。
 - オープンアクセスを推進しやすいモデルアグリーメント／アジェンダを作成する。
 - リポジトリの著作権管理が楽になるようなモデルアグリーメント／アジェンダを作成する。
 - オープンアクセスに対する研究資金提供母体のポリシーを調査し、国際的状況にのっとりモデルポリシーを作成する。
 - 学生に対して、著作権の自己管理を指導したり、リポジトリの著作権処理やライセンスの面でアシストしたりすることで、リポジトリを支援する。

5. 結び

参考 URL

QUT Library

<http://www.library.qut.edu.au/>

QUT ePrints

<http://eprints.qut.edu.au/>

QUT Manual of Policies and Procedures (MOPP) F/1.3 E-print repository for research output at QUT

http://www.mopp.qut.edu.au/F/F_01_03.jsp

ADT

<http://adt.caul.edu.au/>

「学位論文の電子的提出と電子学位論文(オーストラリア・ニュージーランド)」(カレントアウェアネス-R)

<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/car/index.php?p=3690>

ARROW

<http://www.arrow.edu.au/>

VITAL

<http://www.vtls.com/Products/vital.shtml>

RQF

http://www.dest.gov.au/sectors/research_sector/policies_issues_reviews/key_issues/research_quality_framework/

OAK Law Project

<http://www.oaklaw.qut.edu.au/>

「QUT OAK Law Project、学位論文をリポジトリに登録・公開するための学生向け著作権処理ガイドを公表」
(カレントアウェアネス-R)

<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/car/index.php?p=3550>

「QUT OAK Law プロジェクト、研究データ流通の法的枠組みに関する調査報告書を発表」(カレントアウェア
ネス-R)

<http://www.dap.ndl.go.jp/ca/modules/car/index.php?p=3844>